

16高校が交流戦

上富田でラグビーフェスタ

社会人7人制も

上富田町朝来の上富田スポーツセンターで2、3日、「紀州口熊野かみとんだラグビーフェスタ」が開かれ、県内や県外の計16高校と、社会人7人制の3チームが参加し、交流試合をした。29、31日には2回目のフェスタがあり、より多くのチームが参加する。

上富田町スポーツ観光推進協議会が主催し、6回目。交流試合を通じたチームの強化などを目的に毎年3月、2回に分けて開いている。今秋にラグビーワールドカップが日本で開催され、出場国ナミビアのキャンプ地に同町が選ばれていることから、地元でラグビーファンを広げる目的もある。

高校の交流戦では、県内か

ら熊野、田辺、田辺工業など7校、県外からは近畿のほか福井県、静岡県から9校が参加。2日間にわたって、25分1本の交流戦をこなした。田辺の2年生で、副将の井瀬寿太郎君(17)は「部員

が少なく実戦の練習がなかなかできない中、たくさんチームと対戦できてうれしい。負けた試合でも日頃練習してきたことを少しは出せた。課題も見つかったので良かった」と話した。

社会人の7人制には和歌山県選抜、福井県選抜、サムラ

イセブン(神奈川県)の3チームが参加。上富田町で発足したばかりの女子ラグビーチーム「和歌山パシフィックオーシャンズ7」(通称パオ)のメンバーも参加し、タックルなしの「タッチゲーム」をしたり、一緒に練習したりして交流した。



ボールを奪って攻め込む田辺の選手
(上富田町朝来の上富田スポーツセンターで)